

モニタリング結果報告書

施設 県立汐見台病院
指定管理者 社団法人 神奈川県医師会
施設所管課 病院事業庁病院局県立病院課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月20日	6月5日	月例報告書を確認、改善事項なし
5月	6月19日	7月1日	月例報告書を確認、改善事項なし
6月	7月17日	7月31日	月例報告書を確認、改善事項なし
7月	8月18日	9月2日	月例報告書を確認、改善事項なし
8月	9月18日	9月30日	月例報告書を確認、改善事項なし
9月	10月19日	10月30日	月例報告書を確認、改善事項なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。）

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

< 提案内容の概要 >

政策的医療機能として、救急医療の対応、地域医療機関との連携の充実、腎疾患専門医療の対応等を行う。

< 実施状況 >

横浜市磯子地域の中核病院として、救急患者の受け入れ（上半期は1,805人）、患者紹介や共同診療といった地域の医療機関との連携の充実、腎疾患専門治療部における治療等を行っている。

また、分娩を取り扱う医療機関が減少する中で、平成19年度から政策的医療機能として産科医療の充実を位置づけており、平成21年度上半期は411件の分娩を実施した。

さらに、新型インフルエンザへの対応として横浜市の発熱外来設置医療機関（全18施設）のひとつとして、6月10日～7月16日の間、発熱外来を設置した。

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料 (前年同月 料金額)	その他収入			
年間予算額	4,669,320	4,667,501	0	1,819	4,650,141	19,179
上半期計 (a)	2,123,210	2,121,890	0 (0)	1,320	1,731,416	391,794
4月	267,502	267,454	0 (0)	48	124,987	142,515
5月	317,865	316,700	0 (0)	1,165	239,285	78,580
6月	402,287	402,287	0 (0)	0	438,866	△ 36,579
7月	379,688	379,688	0 (0)	0	263,397	116,291
8月	378,879	378,866	0 (0)	13	287,118	91,761
9月	376,989	376,895	0 (0)	94	377,763	△ 774
下半期計 (b)			0 (0)			0
合計 (a+b)	2,123,210	2,121,890	0	1,320	1,731,416	391,794

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・収支差額が生じている理由は、材料費等の支払で資金不足とならないよう、現金を留保しておく必要があるため。
- ・年間予算額の収支が均衡していない理由は、病院経営として収益を出すように予算を編成しているため。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	無し	
支出の状況	無し	
積立等の状況	職員退職積立金	(期首) 65,595
		(期末) 99,015

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
- 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
- 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	患者数			前年同月患者数			対前年比増減率		
	外来	入院	救急	外来	入院	救急	外来	入院	救急
上半期計(a)	74,279人	31,282人	1,805人	65,207人	30,925人	1,625人	13.9%	1.2%	11.1%
4月	11,497	5,490	253	10,835	5,464	251	6.1%	0.5%	0.8%
5月	11,409	5,253	363	10,617	5,179	305	7.5%	1.4%	19.0%
6月	12,870	5,201	279	10,745	4,852	230	19.8%	7.2%	21.3%
7月	13,561	5,266	287	11,662	5,483	277	16.3%	△4.0%	3.6%
8月	12,657	5,105	287	10,850	5,227	264	16.7%	△2.3%	8.7%
9月	12,285	4,967	336	10,498	4,720	298	17.0%	5.2%	12.8%
下半期計(b)									
合計(a+b)	74,279	31,282	1,805	65,207	30,925	1,625	13.9%	1.2%	11.1%

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

利用状況に関する意見等

- ・皮膚科と整形外科の常勤医師の増に伴い、前年度比で外来患者数が増加している。
- ・休日の救急患者が増加している。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月			1			1
5月			1			1
6月			3			3
7月			1			1
8月			0			0
9月			1			1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・検査用の検尿トイレを男女分けてほしい。	・スペース上、男女別にするのは難しい

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	無し

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	無し		
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管 理者	<p>産科医療については、一人でも多くの方が分娩できるよう調整し、上半期411件の分娩を行った。また専門外来として助産師外来、アトピー外来及びスポーツ整形外来を開設し、診療体制の拡充を図った。</p> <p>さらに、新型インフルエンザ対策として感染の拡大が予想されるなか、県民の安全を確保するため発熱外来を設置し対応に努めた。</p>
施設所 管課	<p>横浜市磯子区地域の中核病院として、地域医療機関との連携を密にした開放型病院として医療を提供している。また、分娩を取り扱う医療機関が減少する中で地域の医療ニーズに応じて産科医療の充実に努めており、前年度同期と比較して分娩件数が27件増加した。新型インフルエンザへの対応についても、6月～7月に発熱外来を設置し、地域の公立病院としての役割を果たしている。施設の運営管理は良好に実施されている。</p>